

## 極東ロシア・沿海地方における高級家具用木材の違法伐採対策調査

### 1. 調査事業内容

#### (1) 事業の背景

北日本と同様の冷温帯に位置する極東ロシア・沿海地方は、広葉樹と針葉樹が混交し大型肉食哺乳動物を頂点とする豊かな森林生態系を持っている。広大なロシアにおいても、非常にユニークな生態系であり、沿海地方中北部に位置するシホテアリニ山脈は世界自然遺産にも登録されている。しかしながら、ナラ、タモ、シナやチョウセンゴヨウなどの高級樹種が豊富であり、また国境を接する中国からの膨大な木材需要のため、違法伐採のリスクがとりわけ高い地域である。

日本でもナラやタモの広葉樹は、床材や建具、家具として大きな需要があるが、現在では日本国内におけるこれらの広葉樹の生産量は極めて限定されており、日本で販売されている製品の多くはロシア沿海地方産の原木を日本で輸入・加工したものか、中国から製品輸入されたものである。

中国においては、ナラやタモなどの広葉樹の分布は中国東北部に限られているうえ、天然林伐採が厳しく制限されていることから、原木の相当量がロシア沿海地方から輸入され加工されたものと推測されている。

こうした高級樹種への需要圧力が、違法伐採のリスクを一層大きなものにしており、現地での高付加価値化による適切な利益還元と、それによる持続可能な森林管理の推進に障害となっている。

#### (2) 調査の目的

本調査では、豊かな森林生態系を有する沿海地方の違法伐採対策の現状を調査するとともに、これら高級樹種の持続的生産と輸出を可能にするため、また我が国の需要に応えるために、高級樹種木材関連産業の取組みの現状とそれらの製品の流通のあり様を調査する。その中には合法性確認のための取組みの現状調査を含み、また今後の合法木材取引の確立に必要なシステム整備に必要な条件について現地の関係機関、木材業界等の意見を聴取することを目的とする。

#### (3) 調査の課題

- ア 沿海地方の高級樹種資源の分布
- イ 沿海地方の高級樹種生産・加工・貿易に関する統計データ分析
- ウ 日本・中国のナラ・タモ類広葉樹等の貿易統計データ分析

- ウ 沿海地方の広葉樹等製品加工及び輸出ポテンシャルに関する調査・分析
- エ 高級樹種の主な流通経路、通関ポイントに関する調査
- オ 沿海地方における高級樹種の持続可能な生産と貿易に関する関係機関、業界の取組みに関する調査
- カ 合法性確認への対応及び今後の課題に関する調査

#### **(4) 調査の方法**

文献による情報収集、現地調査、面接調査

日露の研究者、NGO との協働。

なお、既に実行中の「合法性・持続可能性証明木材供給事例調査事業」により得られた情報は本調査に流用する。

#### **(5) 調査報告**

平成19年3月20日までに事業報告書20部及び電子媒体資料1部を全国木材組合連合会会長に提出する。

#### **(6) 実施期間**

平成18年12月〇日から平成19年3月20日まで

## **2. 収支予算案**

別途検討